

進める九州電力山川発電所内での余剰熱有効利用事業で優先交渉権者に選定されたと17日発表した。同社と子会社のオリエンタルアグリ（東京都渋谷区、五島寧人代表取締役）、地元企業のエール（指宿市、倉本哲代表取締役）の3社による共同事業。農産物の加工工場を建設し、オクラなど農産物の加工事業を行う。2023年6月の稼働開始を目指す。

地方創生事業の一環で、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する農産物の付加価値化を図る。オリコンサルは、同市海岸のにぎわい創出に向け、基本構想策定業務などコンサルティングサービスを提供してきた。オリエンタルアグリは同市内でオクラとスナックプえんどうの営農事業、エールはオクラを使用した乾燥加工事業を展開しており、各社の強みを生かす。

## 発電所余剰熱利用し 農産物の加工事業

オリコンサルら3社

オリエンタルコンサルタ  
ンツは、鹿児島県指宿市が